

平成25年度 事業計画書

I 事業概要

平成25年度では、我が国が直面する超高齢社会への備えの視点を最重視しながら、「交通安全」、「交通円滑化」、「公共交通」、「環境」の4重点分野について実践的な研究を、費用対効果及びリスクマネジメント等、多視点からアプローチする。

具体的には、引き続き、研究の量よりも研究の質を重要視して、豊田市の直面している課題及び地方都市の持続的な発展のための課題を念頭に、人的・物的リソースを活用し、自主研究及び受託研究合わせて16事業を行っていく。

こうした調査、研究を着実に遂行することにより、豊田市が推進する「交通まちづくり」を支援するとともに、研究成果を様々な場で公表することを通じて、豊田市並びに日本及び世界の地方都市で環境・社会・経済いずれの面においても持続可能な都市交通が確立されるよう貢献していく。

II 公益目的事業

《公1》調査・研究事業

1 調査・研究（自主事業10件・受託事業6件＝計16件）

(1) 交通安全分野（自主事業5件、受託事業3件）

愛知県下では、交通事故死者数のみならず、交通事故全体の減少が緊急かつ重要な課題となっている。そのため当研究所は交通安全分野への取組を一層強化するものとする。

平成25年度の自主事業では、生活道路における交通安全の研究成果の蓄積、三河地域第一号のゾーン30の導入によって豊田市でのさらなる展開を念頭にしたISA（高度速度制御）の推進、防犯と一体とした取組及び事故発生を防ぐ予防的対策等のテーマを設定した。

また、今日まで培ってきた交通安全分野での成果を活用し、通学路安全対策アドバイザー（県事業）として専門的な見地から助言を行う予定である。

- ① 生活道路におけるISA（高度速度制御）に関する研究（自主事業）
 - ・面的速度マネジメントの実効性担保の一つとしてISA（高度速度制御）の導入についての研究
 - ・路側提示型と車内助言型の両方を実施
- ② 生活道路の安全性評価に関する研究（自主事業）
 - ・安全・安心な交通まちづくりの実現を目指す中、交通安全と防犯を一体的に考察
 - ・よい生活道路は交通安全と防犯（街頭犯罪の抑制）の両方に寄与する視点からのアプローチ
- ③ 交通事故の予防対策地点を効率的に抽出する手法に関する研究（自主事業）
 - ・平成24年度の地点情報を含むWEBアンケートの成果を活用する継続事業
 - ・回答結果とヒヤリハットの整理から予防的対策を検討
- ④ 知的障がい者の交通に関する研究（自主事業）
 - ・交通エコロジー・モビリティ財団の補助事業として採択された研究事業（道路交通環境下における知的障がい者の交通コミュニケーション能力の把握とその応用）

- ・平成24～25年度の2か年度目で、平成24年度に実施した調査を解析
- ⑤ 周辺土地利用と生活道路の理想性能を考慮した面的速度抑制対策箇所の選定方法に関する研究（自主事業）
 - ・ゾーン30導入のガイドラインづくりを目指した研究
 - ・（公財）タカタ財団の助成を受けての実施
- ⑥ 交通事故データ調査（受託事業）
 - ・継続的な実態把握
 - ・データベースづくり
- ⑦ 交通事故冊子作成（受託事業）
 - ・交通安全対策に欠かせない啓発の一環
 - ・市民参加による対策の展開
- ⑧ 高齢者対象の事故防止方策実証実験（受託事業）
 - ・平成24年度に契約して平成25年度に継続された2か年度事業
 - ・受託として実施すべき内容の完成のほか、自主的にデータを活用する研究を検討

(2) 交通円滑化分野（自主事業1件、受託事業1件）

この分野については、TDM（交通需要マネジメント）/MM（モビリティマネジメント）といったソフト対策及び道路整備・交差点改良等ハード対策の両輪で進める。

近年、自主事業では、受託事業の動きと内容及び公共交通分野との役割分担の観点から、TDM/MMの重要なツールとして考えられる自転車中心で様々な取組を行ってきた。

平成25年度では、これまでの成果を活かして、モニターによる社会実験の実施を、受託事業と一体的に進めていく。

- ① 通勤における自転車利用促進に関する研究（自主事業）
 - ・自転車交通の安全課題も含めた取組
 - ・モニターによる転換交通手段実験の実施
- ② 交通需要マネジメント関連施策業務（受託事業）
 - ・エコ通勤をすすめる会の運営
 - ・普及促進の全市的展開

(3) 公共交通分野（自主事業2件、受託事業2件）

公共交通分野では、豊田市を主な研究対象として、受託事業と一体的に地方都市におけるバスを中心とした公共交通サービスのあり方の研究を行っている。

平成25年度では、供給側の視点からのサービス提供に関する受託事業を進める一方、自主事業としては、超高齢社会に向かう我が国の地方都市における高齢者のモビリティという原点からのアプローチ、そして、端末交通として利用が増加するタクシーまたはタクシー的なサービスを鑑み、本来のタクシーサービスの実態を把握し、公共交通とする場合の基礎的研究をスタートさせる。

- ① 中山間地域における高齢者モビリティ調査に関する研究（自主事業）
 - ・生活支援施策の実態把握
 - ・モビリティのニーズを再整理して公共交通整備の方向性を提示する
- ② 公共交通としてのタクシーの活用可能性に関する基礎的研究（自主事業）

- ・タクシーサービスの現状把握
- ・地域公共交通として活用する可能性の検討
- ③ 公共交通評価（受託事業）
 - ・平成24年度のアンケート調査を基にした分析
 - ・現在の公共交通基本計画における2サイクル目の評価を行う
- ④ バス路線再編フォローアップ調査（受託事業）
 - ・路線再編後のフォローアップ調査を実施
 - ・利用実態・意識等を把握した評価

(4) 環境分野（自主事業2件）

環境分野では、平成25年度も平成24年度に採択された科学研究費補助事業として、エコドライブを対象とした研究を継続していく。なお、平成25年度では、定義をスマートドライブに改め、これまで蓄積されたプローブデータをベースに走行速度等の実態解析を行い、普及につながる提案に関する研究を行う。

また、新たな試みとして豊田市環境モデル都市に関連したエネルギーマネジメントに関する取組に着手する。

- ① 走行実態に基づいたスマートドライブの提案に関する研究（自主事業）
 - ・科学研究費助成事業として採択された研究（速度マネジメントに着目したエコドライブ普及施策の定量的評価）
 - ・平成24～26年度の3か年度の2か年度目で、プローブデータによる走行速度等の走行実態を解析することを重点に研究を推進
- ② スマートハウスを活かしたエネルギーマネジメントに関する基礎調査（自主事業）
 - ・環境モデル都市の次なる展開への支援
 - ・研究所の環境分野の新しい方向性を探るための調査

2 報告会・セミナー

- (1) 研究成果報告会（主催：平成25年7月5日予定）
- (2) 日中共同セミナー（共催：平成25年6月21～22日/岐阜大学開催予定）

3 資料発行

- (1) 機関紙「まちと交通」（年4回発行）
- (2) 年報（平成25年6月発行予定）
- (3) その他資料

4 その他

- 研究企画委員会（年5回開催）

《公2》豊田市ITS情報センター管理運営事業（平成25年5月31日閉館）

(1) 施設管理

- ・公共施設としてふさわしい安全・清潔・利便性に配慮した維持管理を実施

(2) 施設運営

- ・市民、来訪者の満足度向上を意識した運営を実施

Ⅲ 法人運営

法令又は定款等に基づき、評議員会、理事会及び監事会を運営